

国際女性年から
1975 50 2025
年展



1975年 国際女性年世界会議(メキシコシティ)の写真

同時開催 新規受贈資料紹介
リブ新宿センター保存資料展

令和6年10月5日(土)▶令和7年2月24日(月・祝) **入場無料**

開室時間：9時～17時 休室日：会館休館日(<https://www.nwec.go.jp/about/use.html>)

主催：独立行政法人国立女性教育会館

会場：国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室 (本館1階)

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728 東武東上線武蔵嵐山駅徒歩12分

<https://www.nwec.go.jp> Tel : 0493-62-6195 E-mail : infodiv@ml.nwec.go.jp

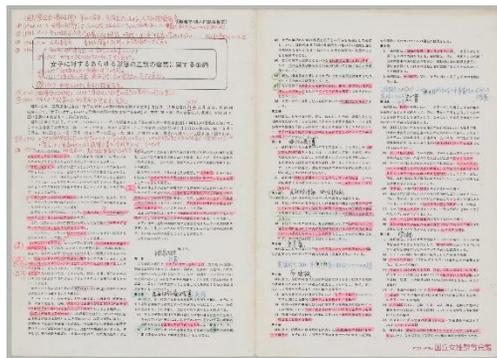
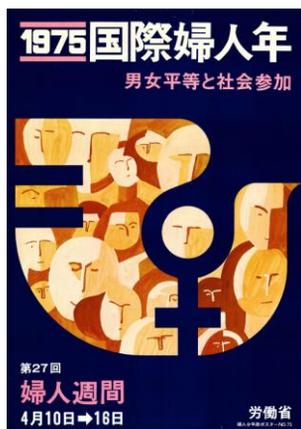
国際女性年から50年

2025年は、国連が女性の地位向上を目指して定めた1975年「国際女性年」から50年の節目の年です。1975年、初の世界女性会議となる「国際女性年世界会議」が開催されました。「世界行動計画」が採択され、1976～1985年までを「国連女性の10年」と宣言し、各国で取り組みが進みます。日本では1977年1月「国内行動計画」が決定され、同年「国立婦人教育会館」が開館しました。1979年国連で「女性差別撤廃条約」が採択され、日本でも国籍法改正、男女雇用機会均等法制定、家庭科の男女共修等の国内法の整備を進め、1985年に批准しました。

1995年には北京で第4回世界女性会議が行われ、「行動綱領」が採択されます。日本では1999年「男女共同参画社会基本法」が制定されますが、その後政治・経済分野での男女格差は縮まらず、世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数は低迷しています。

女性活躍が進む一方で未解決の問題が多く残されている現在、この50年の歩みを女性アーカイブセンター所蔵資料から振り返り、男女共同参画実現のための課題解決について考えます。

展示資料例



ポスター 男女平等と社会参加-第27回婦人週間 (女性と仕事の未来館資料) 1975

「男女共同参画ビジョン」提出 (全国婦人新聞社取材写真コレクション) 1996

女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約 (和田典子資料) [1985]

同時開催 「新規受贈資料紹介-リブ新宿センター保存資料展」

国立女性教育会館(NWEC)は2024年、リブ新宿センター資料保存会からリブ新宿センター保存資料の寄贈を受けました。日本では1970年に各地でウーマンリブの動きが始まり、1971年第1回リブ合宿、1972年5月第1回リブ大会開催、同年9月末にリブ新宿センター(以下リブセン)が開所します。リブセンでは優生保護法改悪阻止運動、ベビーカー締め出しへの抗議、避妊・中絶の相談、ドテカボー座による女性解放をうたうミュージカル公演など、様々な活動が展開されました。1975年、海外渡航を考えていたリブセン運営メンバーの3人が、初めての世界女性会議となる「国際女性年世界会議」の開催を知り、メキシコに向かいます。その後1977年5月、リブセンは閉所しました。

5年という短い期間ではありますが、夫の暴力、避妊・中絶・妊娠、生理の問題等、現在につながる課題と取り組んだリブセンの資料を紹介します。



第1回リブ大会ポスター 1972 (上)

ドテカボー座ポスター [1974] (左)

女性アーカイブセンター所蔵資料の目録情報とデジタル画像(一部)をインターネット上で公開しています。

国立女性教育会館女性デジタルアーカイブシステム

https://w-archive.nwec.go.jp/il/meta_pub/G0000337warchive



独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
祝日を除く日曜日のお問い合わせ
Tel:0493-62-6661(フロント係)